

Ver. 4 問題集

for the USCPA Exam

USCPA

Principles of Auditing (AU) Vol.1

FAR

Financial Accounting & Reporting

BEC

Business Environment & Concepts

REG

Regulation

AUD

Auditing & Attestation

問題文翻訳集



TAC

Ver.4 問題集

for the USCPA Exam

USCPA

Principles of Auditing

(AU) Vol.1

問題文翻訳集

この問題文翻訳集は同タイトルの問題集に収録されている全文英文の問題文を日本語訳を交えて翻訳したものです。問題集を解き進める際、必要に応じてご利用ください。

USCPA 試験は英語で実施されますので、最終的には問題集本体に収録されている英文の問題を英語のまま理解できるまで習熟を図ってください。そのためこの翻訳集においても、英語でそのまま理解してほしい試験で頻出の専門用語や比較的短い語句等については、日本語に訳さず、原文の英語のまま掲載しています。

皆様が本教材を活用することによって合格を勝ち取られることを祈念しております。

TAC 米国公認会計士講座



U.S. CPA
Principles of Auditing Vol.1
問題集 問題文翻訳集

Contents

1. Overview (1)～(6)	1
7. Risk-Approach	7
8. Engagement	17
9. Audit Planning	27
10. Fraud and Noncompliance	45
11. Audit Procedures	53
12. Test of Controls and Substantive Tests 総論	69
13. Revenue Cycle	81
14. Expenditure Cycle	97
15. Other Transaction Cycle	115
16. The Effect of Information Technology on the Audit	135
Auditing Vol.1 AICPA Released MCQs	149

この問題文翻訳集は同タイトルの問題集に収録されている全文英文の問題文の日本語訳を収録したものです。問題集を解き進める際、必要に応じてご利用ください。

USCPA 試験は英語で実施されますので、最終的には問題集本体に収録されている英文の問題を英語のまま理解できるまで習熟を図ってください。そのためこの翻訳集においても、英語でそのまま理解してほしい試験で頻出の専門用語や比較的短い語句等については、日本語に訳さず、原文の英語のまま掲載しています。

皆様が本教材を活用することによって合格を勝ち取られることを祈念しております。

TAC 米国公認会計士講座

1. Overview (1)

§

6. Overview (6)

基本問題 1

(1) 以下のうち、監査の際に準拠すべきガイダンスについて正しいのはどれか。

- a. SAS Interpretations に権威はないが、監査人の参考になるものである。
- b. SAS Interpretations は監査基準の1つである。
- c. Journal of Accountancy に掲載された監査に関する論文は、権威について AICPA Audit and Accounting Guides と同じ階層にある。
- d. SAS Interpretations は、権威について AICPA Audit and Accounting Guides と同じ階層にある。

(2) 以下のうち、Statements on Auditing Standards (SAS : 米国監査基準書) に関する監査人の責任を正しく説明しているものはどれか。

- a. 監査人は、SAS が定めるガイダンスに例外なく準拠する必要がある。
- b. 監査人は通常、自身が精通している SAS が定めるガイダンスに準拠する必要があるが、自身が知らない規定を準拠しなくても責任は問われない。
- c. 監査人は通常、SAS が定めるガイダンスに準拠する必要がある。ただし、ガイダンスの準拠が費用対効果が低い監査につながる場合はその限りではない。
- d. 監査人は通常、SAS が定めるガイダンスに準拠する必要がある、準拠しない場合はその正当な理由を説明できる必要がある。

基本問題 2

(1) 以下のうち、最も説得力のある監査証拠はどれか。

- a. 事前に連番が振られた顧客の発注書フォーム
- b. 費用配分の根拠となる顧客の作業表
- c. 顧客から入手した銀行明細書
- d. 顧客の **Representation letter**

(2) 以下のうち、監査証拠の信頼性について正しいのはどれか。

- a. 外部から間接的に入手した情報は最も信頼できる監査証拠である。
- b. 信頼性がある監査証拠は、**Persuasive**（説得的）よりも **Conclusive**（確信的）であるべきである。
- c. 監査証拠の信頼性とは、入手した裏付けとなる証拠の量を意味する。
- d. 有効な内部統制システムは、監査証拠の信頼性をより高める。

(3) 以下のうち、最も信頼性の高い証拠を生み出す手続はどれか。

- a. 試算表の **Scanning**（通査）
- b. 顧客企業従業員の聞き取り
- c. **Retained earnings** の期首残高と期末残高の比較
- d. 貸倒費用の再計算

基本問題 3

- (1) 他の全ての条件が同じである場合、正しいのは以下のどれか。
- a. Detective control は Preventive control より優れている。
 - b. Corrective control は Preventive control より優れている。
 - c. Preventive control と Detective control は同等である。
 - d. Preventive control は Detective control より優れている。
- (2) 内部統制に関する以下の記述のうち、正しくないものはどれか。
- a. 資産の管理と記録を1人の人物が担当すべきではない。
 - b. 取引の処理が行われる前に適切な承認を得る必要がある。
 - c. 費用対効果により、顧客はテストベースで統制を適用する場合がある。
 - d. 統制は、従業員の共謀が起きないという合理的な保証を提供する。
- (3) 財務諸表の監査において、内部統制に関する監査人の主な検討事項として正しいのはどれか。
- a. 内部統制がマネジメントの信条や経営スタイルを反映しているか。
 - b. 内部統制がマネジメントの財務諸表のアサーションに影響を及ぼすか。
 - c. 内部統制が資産へのアクセスに対して適切な保護対策を提供しているか。
 - d. 内部統制がマネジメントの意思決定プロセスを強化するか。

基本問題 4

(1)適切な職務の分離は、1人の従業員が以下のどれを同時に行う機会を減少させるか。

- a. 現金収支の仕訳記入と財務諸表の作成
- b. 内部統制の監視と統制が意図した通りに機能しているかの評価
- c. 新しい会計基準の適用と取引計上の承認
- d. 通常の業務を行う過程での不正取引の記録と不正取引を隠ぺいする者

(2) 内部統制の目的に含まれるのは以下のどれか。

	情報と通信 <u>システム</u>	報告の信頼性 <u>報告の信頼性</u>	業務の有効性と <u>効率性</u>
a.	Yes	Yes	Yes
b.	No	Yes	No
c.	Yes	No	No
d.	No	Yes	Yes

基本問題 5

(1) 企業内の内部統制の確立、維持、監視の責任者は誰か。

- a. 会計部門
- b. 内部監査人
- c. マネジメント
- d. 外部監査人

(2) 内部統制が関係するのは以下のどれか。

- a. 企業全体
- b. 企業の業務部門
- c. 企業のビジネス機能部門
- d. 上記のすべて

(3) 以下のうち、財務諸表監査と最も関連が薄い統制はどれか。

- a. 製造における原材料の使い過ぎを防ぐ手続
- b. 法人税規則の遵守に関連する方針
- c. データファイルへのアクセスを制限するためのコンピュータパスワードの使用
- d. 差異の分析評価に使われる生産統計データの生成

7. Risk-Approach

基本問題 1

(1) SAS は、監査人が個別の勘定残高レベルで監査リスクを考慮することを義務付けている。その際、監査人が考慮する必要のある監査リスクモデルの構成要素は何か。

- a. 統制リスク、重要性および発見リスク
- b. 固有リスク、発見リスクおよび重要性
- c. 固有リスク、統制リスクおよび発見リスク
- d. 重要性、統制リスクおよび固有リスク

(2) 以下のうち、監査リスクの構成要素について正しいのはどれか。

- a. 固有リスクは計量的にのみ評価される場合がある。
- b. 固有リスクは非計量的にのみ評価される場合がある。
- c. 固有リスクと統制リスクは計量的または非計量的に評価される場合がある。
- d. 固有リスクは、最小値と最大値のみを見る必要がある。

(3) 重要性の基準値を低くした場合にどのようなことが起きるか。

- a. 確認するサンプル数の減少
- b. 期末前の棚卸立会の実施
- c. 裏付けを確認する現金支出の件数の増加
- d. 検証する勘定数の減少

(4) 監査人の標準的な監査報告書には以下の記述が含まれる。

我々は、米国で一般に公正妥当と認められている監査基準に従って監査を実施した。当該基準は、財務諸表に重要な虚偽の表示が無いかどうかについて合理的保証を得るために、我々が監査を計画し、実施することを要求している。

Reasonable assurance（合理的保証）について正しいのは以下のどれか。

- a. 提供される保証の種類をユーザーが確実に理解しているようにする。
- b. 監査人の責任の最大範囲を表わす。
- c. 監査人の財務諸表との関わりを限定する。
- d. 監査リスクの存在を認識する。

基本問題 2

- (1) 監査を計画する際、監査人は実施される監査手続の詳細を含む監査手続書を作成することが義務付けられている。以下のうち、監査手続書について正しいのはどれか。
- a. 監査手続書には、それぞれの監査目標に対して個別の監査手続を含める必要がある。
 - b. 貸借対照表の各勘定または分野に関する監査手続書には、詳細な監査手続を含める必要がある。
 - c. 監査手続書には、監査目標の達成を可能にするのに十分な数の監査手続を含める必要がある。
 - d. 監査手続書は標準化されたフォーマットに従って作成する必要がある。

基本問題 3

(1) 集積して評価した監査証拠に基づき、監査人は当初の計画よりも重要な虚偽表示の評価リスクを引き上げることを決めた。当初計画された監査リスク水準と実質的に同じ程度の全体監査リスク水準を達成するため、監査人が行うのは以下のどれか。

- a. Substantive testing の減少
- b. 発見リスクの引き下げ
- c. 固有リスクの引き上げ
- d. 重要性水準の引き上げ

(2) 以下のうち、重要性について正しくないのはどれか。

- a. 重要性の概念は、GAAP に準拠した財務諸表の適正な表示において重要な項目もあれば、そうでない項目もあるという点を認識している。
- b. 監査人は、監査計画の目的上、それぞれの財務諸表に含まれる重要な影響を及ぼす可能性のある虚偽表示の総計額のうち最大なものに基づき重要性を検討する。
- c. 重要性の判断は周辺状況を踏まえて行われ、必然的に金額的および質的判断の両方がある。
- d. 監査人の重要性の検討は、財務諸表を利用する合理的な人物のニーズに関する監査人の認識の影響を受ける。

基本問題 4

- (1) Green CPAs の監査人である Jacob は XYZ Co. の監査を行っている。Green CPAs は重要性の計算に **Average method** を用いている。この方法では、定められた次の比率に対して等しく重みをおいて重要性が計算される：税引前利益の5%、資産合計の0.5%、資本の2%、収益の1%。以下は、XYZ の財務諸表の抜粋である。

収益	\$505,000	税引前利益	\$150,000
資産	\$350,000	負債	\$75,000

上記を踏まえると、Jacob が XYZ Co. に適用すべき全体としての重要性の金額はいくらになるか。

- a. \$2,700
 - b. \$3,950
 - c. \$4,950
 - d. \$19,800
- (2) 監査計画において重要性を考える際、監査人は、総額\$10,000の虚偽表示が企業の損益計算書に重大な影響を及ぼすが、貸借対照表に重要な影響を及ぼす虚偽表示の総額は\$20,000になると考えている。通常、監査手続を設計する際、総額がいくらの虚偽表示を発見できるようにするのが適切となるか。
- a. \$10,000
 - b. \$15,000
 - c. \$20,000
 - d. \$30,000
- (3) 統制リスク評価の最終的な目的は、どのようなリスクに関する監査人の評価をサポートすることか。
- a. 運用評価手続がアサーションに関連のある手続を特定できないリスク
 - b. 重要な虚偽表示が財務諸表に存在するリスク
 - c. 職務の分離が必要となる特定の統制が共謀により迂回されるリスク
 - d. 企業の方針が経営陣により覆されるリスク

基本問題 5

(1) 以下のうち、特定の監査に関する監査調書について正しくないのはどれか。

- a. 監査調書は、監督責任のある監査チームのメンバーが、実施される監査手続の性質、タイミング、範囲および結果を理解できるに足る内容である必要がある。
- b. 監査調書は、監査業務を実施、レビューした監査チームのメンバーを明記する必要がある。
- c. 監査調書は、品質管理基準の遵守を示す必要がある。
- d. 監査調書は、監査実施基準の遵守を示す必要がある。

(2) 監査調書の **Permanent file** に含まれる可能性が最も高い文書は以下のどれか。

- a. 今年度監査の主なスケジュール
- b. 弁護人からの手紙
- c. 銀行明細書
- d. 債務契約

(3) 監査調書の主な機能は以下のどれか。

- a. 監査報告書の主要な根拠を提供する。
- b. **Code of Professional Conduct**（専門家としての行動規範）に関する監査人の責任を満たす。
- c. 公認会計士事務所の品質管理活動の有効性を監視する。
- d. 監査人が維持する独立性の水準を文書化する。

基本問題 6

- (1) 監査調書の **Permanent file** に含まれないものはどれか。
- a. 社債信託契約書
 - b. リース契約書
 - c. 試算表
 - d. 内部統制のフローチャート
- (2) 監査人は通常、注記を除いた財務諸表の試算表のようなものを使用する。この試算表に含まれる項目は以下のどれか。
- a. キャッシュ・フローの増減
 - b. 監査目標とアサーション
 - c. **Reclassifications**（組替え）と **Adjustments**（修正）
 - d. **Reconciliations**（調整）とチェックマーク
- (3) 以下のうち、監査調書の性質や範囲に影響を及ぼす可能性が最も低いものはどれか。
- a. 特定の監査手続の性質
 - b. 虚偽表示のリスク
 - c. 特定の監査手続を実施する際に必要な判断の範囲
 - d. 経営者による確認書の内容

基本問題 7

(1) 以下のうち、GAAS に準拠した監査において必要となる文書はどれか。

- a. 企業の内部統制の有効性を評価するフローチャートまたは内部統制アンケート
- b. 監査人が計画した **field work** 作業の時期と内容をまとめた経営者による確認書
- c. 会計記録が財務諸表と一致しているという監査調書内の記載
- d. 実施された手続とその結果の発見事項リスト

(2) 監査調書は、以下のどれを可能にするだけの情報を含んでいる必要があるか。

- a. 過去にその **Client** の監査を担当した経験のある監査人が、実施された手続と入手した証拠を理解できる。
- b. 過去にその監査と関係のない財務諸表の利用者が、実施された手続と入手した証拠を理解できる。
- c. 財務分析の経験がある財務諸表の利用者が、実施された手続と入手した証拠を理解できる。
- d. 過去にその監査と関係のない経験のある監査人が、実施された手続と入手した証拠を理解できる。

(3) **Documentation completion date** について正しいのはどれか。

- a. PCAOB 基準に基づき、**Report release date** から45日以内
- b. PCAOB 基準に基づき、**Report release date** から60日以内
- c. 監査基準に基づき、**Report release date** から7年以内
- d. 監査基準に基づき、**Report release date** から5年以内

基 本 問 題 8

(1) 以下のうち、GAAS に準拠した監査において必要ではない文書はどれか。

- a. 監査目標の達成に必要な手続きを定義した監査手続書
- b. 会計記録が財務諸表と一致しているという記載
- c. 監査人が計画した **field work** の時期と内容をまとめた監査契約書
- d. リスク評価手続が実施されない場合の監査人の決定の根拠

(2) 監査契約に最終責任を負う監査人とそのアシスタントの間で、監査手続の結果に関する意見の相違がある。この問題の解決に自身が関与すべきではないとアシスタントが考えている場合、この公認会計士事務所が取るべき行動は以下のどれか。

- a. アシスタントが意見の相違を AICPA の **Quality Review Committee** に持ち込めるようにする。
- b. アシスタントが到達した結論に対する異議の詳細を文書化する。
- c. アシスタントが意見の相違について企業の経営陣または監査委員会と議論できるようにする。
- d. アシスタントが意見の相違を公平なピアレビュー監視チームに持ち込めるようにする。

(3) 以下のうち、リスク評価に関して必要ではない監査調書はどれか。

- a. 重要な虚偽表示のリスクにおける監査人の評価の根拠
- b. 企業とその環境に関する理解の主要要素
- c. 監査人が評価した特定されたリスクと関連する統制
- d. 監査人によるリスクの予備評価基準を定義した監査契約書

【MEMO】

Principles of Auditing(AU) 一問題集 問題文翻訳集 Vol.1

2021 年 7 月 4 日 初版初刷発行

編 者 TAC 米国公認会計士講座

発 行 者 多 田 敏 男

発 行 所 TAC 株式会社

〒101-8383

東京都千代田区神田三崎町3-2-18

印刷・製本 株式会社 日興印刷

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で転載、複写されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合には、あらかじめ小社宛許諾を求めてください。

Printed in Japan

Ver.4 問題集

for the USCPA Exam

USCPA

Principles of Auditing
(AU) Vol.1



TAC

BRADLEY
UNIVERSITY



091-2200-1009-19